

団体名	川島防災クラブ		
助成金種類 事業名	スタート助成<1年目> 防災連絡協議会事業		
事業概要	各地域を代表する防災委員にて構成する「防災連絡協議会」が設置出来る状況を整える。		
事業費総額(確定)	159,112 円	助成金額(確定)	100,000 円
主な経費内容	防災備蓄食料アルファ米、A4 用紙、ファイル・インデックス・カートリッジテープ、プリンタインク、携帯トイレ、風船及び風船支柱、防災訓練用ベスト、幟旗・ポール、会場使用料		

●実施内容

■各地区被害想定調査・地図作成

各地区防災備品調査・一覧表作成

各地区の防災備品設置状況、及び各地区の災害危険箇所の調査を各地区の防災委員に依頼し、各地区被害想定地図及び各地区防災備品設置状況一覧表を作成。

■川島ライフデザインセンタークラブサークル発表会参加

日時:10月28日(土)29日(日)10:00~16:00

場所:川島ライフデザインセンター

参加者:190人

内容:防災クイズ、防災アンケート、防災備蓄食料の試食体験、防災用品展示、防災啓発動画の紹介・調査結果展示。川島防災クラブの知名度を上げるために大変多くの来場者があるサークル発表会に参加した。

■ぎふ農協川島支店主催「命を守る防災訓練」参加

日時:1月28日(日)10:00~12:00

場所:ぎふ農業協同組合 川島支店

参加者:62人

内容:消火器による消火訓練、ボールを使って入口突破訓練、負傷者5名想定救助模擬訓練(担架・AED・負傷箇所の手当て)、リヤカーでの負傷者搬送訓練、最初に自分たちで救助を体験し体験後に消防署員4名・消防団3名が振り返りを含めてアドバイスと実演。

6月	各地区道路冠水被害調査
7月	各地区道路冠水被害調査、各地区防災備品設置状況調査
8月	各地区被害想定地図作成、各地区防災備品設置状況調査
9月	各地区防災備品一覧表作成
10月28・29日	川島ライフデザインセンタークラブサークル発表会参加
1月17日	手作り簡易担架作成
1月28日	ぎふ農協川島支店主催「命を守る防災訓練」参加

●事業の成果

・各地区防災備品調査や各地区道路冠水被害調査により、調査協力を依頼した方々にそれぞれ地域の実情を知らせることができ、防災を前向きに捉える人が増えてきた。

・道路冠水被害調査で冠水被害の原因を探ることにより、側溝管理方法、道路勾配、周辺の土地を含めた排水能力等の情報を、地区自治会役員、地区住民と共有することができた。

・防災調査によって各地区の災害に対する想定状況が大きく違うことが分かり、各地区固有の防災問題を最優先で解決しなければ、川島全体としての防災問題解決の話し合いには容易に進めないことが判った。我々が行っている各地区の調査により、各地区災害の想定状況を多くの人が知り、各地区固有の災害問題を各地区にて話し合う気運が出てきた。

●団体の活動目的・目標

災害防止に貢献することを目的とする。

防災連絡協議会設置事業を目標とする。

